子ども向けワークショップ@千葉市美術館

チルドレンズ・プライド、千葉中央、2023.02.23

山本高之 × WiCAN



「チルドレンズ・プライド、サンフランシスコ」2013

きみのねがい、つたえよう

- 千葉の街をパレード ----

このワークショップについて

――言いたいことがあるのは、大人だけじゃない。

"皆が自分の主張を押し殺してこそ社会が成立する"ことは、もはや暗黙の了解とされているのかもしれません。向けられる視線への不安、変わらない社会への諦念――私たちの、そして時に子どもたちの思いは、様々な障壁でそれぞれのうちに押し込められています。しかし、自己主張は本来楽しいものであり、すべての人にとってより良い社会を作るために欠かせないものです。

〈チルドレンズ・プライド、千葉中央〉では子どもたちが「こうなったらいいなぁ」という思いを自由に書き、パレードでみんなに伝えます。子どもたちが自分の心の中にある主張を、自身の手で書き、飾り付けたプラカードを持って、千葉の街中を歩くパレードは、子どもたちが「主張する楽しさ」を実感し「自分と違う意見を受け止める」経験となるでしょう。

お申し込みの方はこちらから



こちらのQRコードを読み取り、 Googleフォームでお申し込み下さい URL:https://forms.gle/6mEyn2aBv6y58jxm7 定員に達し次第、募集を終了する可能性があります

- ●ワークショップ企画名:チルドレンズ・プライド、千葉中央
- ●講師:山本高之(アーティスト)
- ●主催:千葉アートネットワーク・プロジェクト(WiCAN)
- ●ファシリテーター:WiCANメンバー(大学生)
- ●日程:2月23日(木・祝)
- ●時間:

11:00~12:00 プラカードづくり

12:00~13:00 一時解散・お昼休憩

※昼食場所の提供はございません。周辺施設をご利用ください。

13:00~14:00 パレード練習

14:00~15:00 千葉市美術館周辺でパレード

●開催場所:

(プラカード制作)千葉市美術館 4F 市民アトリエ2 〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央3丁目10-8 (パレード)千葉市美術館周辺

- ●参加費:無料
- ●対象:5歳~小学4年生

(文字を書いてもらう活動があります)

- ●定員:15名程度(要事前申し込み)
- ●お問い合わせ:wican2022@gmail.com

アーティスト 山本高之

1974年愛知県生まれ。小学校教諭としての経験から「教育」を中心テーマのひとつとし、子供のワークショップをベースに会話や遊びに潜む創造的な感性を通じて、普段は意識されることのない制度や慣習などの特殊性や、個人と社会の関係性を描く。近年は地域コミュニティと協働して実施するプロジェクトに多く取り組んでいる。主な展覧会に「Go



Betweens:子どもを通して見る世界」(森美術館ほか2014-2015)、コチ=ムジリス・ビエンナーレ(インド2016)、Asian Art Award 2017 (TERRADA ART COMPLEX 4F 2017) など。近著に『芸術と労働』(共著、白川昌生+杉田敦編、水声社 2018)。

WiCANについて

千葉アートネットワークプロジェクト(WiCAN) は千葉大学教育学部准教授神野真吾を代表とし、千葉大学教育学部芸術学研究室、千葉大学の授業である「文化をつくる」「アート・コミュニケーション」の受講生や千葉市美術館などが関わる組織。2003年に発足。社会においてアートの意味を発信する活動を行っている。

HP:http://www.wican.org/

